



おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

14

2001.7 Summer

第2回 指導者養成講習会を開く

交流しながら
なごやかに



「講話と実技」を本部で



東京・名古屋・北九州
など全国各地から

特集

第二回指導者
養成講習会を開く

…
1～2

- お年寄りが笑顔で汗流す … 2
- 「生活文化賞」を受賞 … 3
- 美しいまちづくり賞も … 3
- 世界の子どもたちと友だち
になろう。三崎二名津小 … 4
- 霧の森お手玉大会 … 4
- 京都御苑での
路地遊びでお手玉 … 5
- 支部だより
とつとりのお手玉の会 … 5
- 熊本おじゃめの会 … 5
- お手玉大使の
神屋さんが自分史 … 5
- 全国からのおたより … 6
- 杉葉子顧問に
ゴールデン・グローリー賞 … 7
- 第10回大会開催の内容 … 7
- 第11回大会の開催地決定 … 8
- 国内や海外活動への協力 … 8

第二回指導者養成講習会の報告

全国から
27名参加



第二回目のお手玉遊び「指導者養成講習会」は、3月31日、4月1日の両日、

日本のお手玉の会本部で行われました。参加者は全国の各地で「お手玉遊び」の指導者の立場にある方たちで、今回は、四国をはじめ東京、名古屋、倉吉、松江、北九州などから二十七人が集いました。

最初の自己紹介では、お手玉遊びに対するそれぞれの思いが述べられました。徳島の細川龍繁さんは、小学校の校外活動の指導者です。「地域の子どもも会が死にかけている」と実感していると、インターネットで日本のお手玉の会を知り、「アッ、これこそがさう」と思って参

加しました」と語り、講習中は、ビデオカメラを持ち込み、熱心に収録していました。

また、北九州市から来られた吉川孝子さん親娘は、「四年がかりで日本のお手玉の会の本部を探し当てました。最終的には、NHK松山放送局に電話をして知ることができました。長年の夢がかなって感激しています」と、熱っぽく話していました。

東京の小泉珠子さんは、第一回全国お手玉遊び大会の優勝者で、世田谷区会議員として活躍されています。「忙しい中ですが、ミヤンマーの子どもたちに、ぜひお手玉の楽しさを伝えてあげたいために、どうしても参加したかった」と、語っていました。

そのほか、福祉の現場で介護の仕事をしている方や、婦人会、公民館などいろいろな分野で活躍されている方々でした。「だれにでもできて、だれにもできない領域のあるお手玉遊び」、その魅力に魅せられた人たちの熱意のほどが伝わって

てくる、自己紹介でした。

講習会は、武田信之会長から、歓迎のあいさつにつづいて、「お手玉の会の活動報告、お手玉の歴史、世界とのつながり、現代社会に欠けている心の調いを補う効能や、世代交流、国際交流、伝承遊び文化と世界発信」などの講話がありました。

引き続き、左上のような内容の研修にはいりました。今回の研修では、とくに「対象別の指導の方法」に重点が置かれました。

二日目は、全国お手玉遊び大会競技の進め方、ルール、審判方法の説明が行われ、本書ながらに、日本のお手玉の会の審判委員から指導を受けました。実際に受講者が交代で審判と選手を演じながら、個人戦と団体戦の競技について審判の要領を学びました。(写真)

また、休憩時間や交流タイムには、支部や地域での珍しい遊び方を披露したり、うまくなるコツを教えあったり、郷土の銭太鼓の披露などで交流をしながら、なごやかな温かい雰囲気の中で研修会となりました。

今回の講習内容

- 1 お手玉遊びの指導の基本
- 2 幼児を対象とした指導のポイント
- 3 健康教室や生涯学習の場での指導方法
- 4 老人福祉現場でのお手玉遊び
- 5 地域イベントに参加するときの要領

参加者の感想

- ・本部が活動10年間に蓄積したエキスを教えてもらった。
- ・ウォーミングアップの必要性がわかった。
- ・基本的なことを知りたかったのでとても良かった。
- ・審判について、実際の男性審判員から指導を受け感動した。
- ・たくさんの人と交流できたことがうれしくて、涙が出そうだった。
- ・毎朝、コーヒー一杯と、三分間のお手玉を習慣にしたい。
- ・ずっと知りたいと思っていた「寄せ玉遊び歌」のことを、倉吉の福田環さんに教えてもらってうれしかった。「オチリンコ」は「捨のこと」、「オサラ」は「さらっていくこと」とわかった。



北宇和郡三瓶町の北公民館で、3月8日(木)、お年寄りを対象とした「お手玉教室」が開かれ、約60人の参加者は、久しぶりのお手玉に笑顔で取り組み、汗を流しながら1時間余り楽しい時間を過ごしました。本部から三人が講師として参加しました。最初に、「手から心へ、ぬくもりを届ける」お手玉遊びの普及活動「と」の講演の後、日本テレビ番組「なるほど」のお手玉でボケ防止のVTRを見て、健康管理にお手玉が効果的であることを確認しました。

後半は、参加者全員がお手玉を持って、ウォーミングアップや1個、2個、3個のお手玉を使って、お手玉遊びを楽しみました。体がほぐれたところで、3個のお手玉をじょうずに操るおばあさんもいて、参加者の拍手を受けていました。(写真)

お年寄りが笑顔で汗流す

三瓶北公民館でお手玉教室

世界が舞台の地域づくり 三崎町教育委員会で講演



西宇和郡三崎町の教育委員会は、社会教育委員など20人を対象に講演会を開催し、「ちよっとした創造から世界発信の地域づくり」に発展している、お手玉遊びの普及活動の内容を紹介する機会を与えていただきました。

講演の後、参加者は、実際にお手玉を持って、ぬくもりの伝え合い、お手玉の楽しさ、おもしろさ、気分転換などに効果があることを体験し、納得した様子でした。(写真)

伝承文化「お手玉遊び」の普及活動で(財)日本ファッション協会から 「生活文化賞」を受ける

日本のお手玉の会は、このたび、「伝承文化・お手玉遊び」の普及活動で、財団法人日本ファッション協会(理事長日福葉典作)から、日本生活文化大賞「生活文化賞」を受賞しました。

この賞は、「優れたファッション活動は、快適でゆとりある国民生活、創造力の育成、新たな地域社会の形成、伝統的な生活文化の継承、生活福祉の向上等にも大きな影響を与える」という観点から設けられたものです。そして、「新たな生活文化の創造に寄与し、それぞれの分野・地域における優れた活動、および、生活文化創造の将来に新たな息吹を感じさせる活動を行った個人または団体に対し、その功績を顕彰することを目的として、日本生活文化大賞を制定した」というものです。

この趣旨と目的に照らして、平成4年から取り組んできた日本のお手玉の会の「伝承文化・お手玉遊び」の普及活動が評



価され、平成12年度第10回日本生活文化大賞「生活文化賞」を受賞することになったものです。

表彰式は、平成13年3月23日、東京会館(東京都千代田区)で行われ、審査委員長の石井威望(東京大学名誉教授)さんから審査講評について、「生活文化賞」の表彰状、記念品、副賞(賞金25万円)の授与がありました。今回は大賞の該当はなく、生活文化賞を5団体が受賞しました。

日本のお手玉の会からは、本部から三人、東京から副会長、顧問、文部の代表ら8人が出席しました。また、日ごろお世話様になっている文芸堂(一社)青少年交友協会などから3人の方が、お祝いにかけてくださいました。

加藤タキさんから激励

表彰式の後のパーティでは、主催者、受賞者、関係者など出席者との交流が行われました。



加藤タキさん(加藤タキ)は、この受賞を機に、自信を持ってますます活動を充実されるよう期待申し上げます。私も、私なりに日本の大切な伝承文化を、機会あることにひとりでも多くの方に伝えるよう努めたいと思います」と、お励ましの言葉を

日本のお手玉の会
会長 加藤タキ様

拝見しに感謝し、御礼申し上げます。
素晴らしい賞に選ばれるのは、皆さまの愛と応援のおかげです。

この日は、寒い中までご来場いただきありがとうございます。
あたたかめて御礼(日本生活文化賞)受賞、おめでとうございます。
毎年、感謝に胸をなやませています。

皆さまも最新の日本ファッション協会主催のこの賞の講習会に参加することを
楽しみに、是非なる皆さまの存在が素晴らしい活動に感じています。
是非またの受賞にこそ早く参加してください。

「伝承文化「お手玉遊び」の普及活動」が、
この受賞を機に、ますます活発化するよう期待申し上げます。私も、私なりに
この賞を機に、自信を持って、ますます活動を充実されるよう期待申し上げます。
ひとりでも多くの方に伝えるよう努めたいと思います。
御礼の言葉をよろしくお伝えください。

皆さまのさらなるご活躍を祈りつつ
お慶びできなかった私の名前をお詫言
ご挨拶申し上げます。

2003.03.29

お祝いさまで
加藤タキ
加藤タキ

かけていただきました。
その後、審査員の加藤タキ様、
内館牧子様から、お祝いの便り
をいただきました。

【生活文化賞の過去の受賞例】
▽第9回「課外授業ようこそ先輩(NHKエンタープライズ)」
▽全国「かまはこ板の絵」
▽愛媛県城川町立美術館
▽第8回「YOSAKOIソーラン祭(札幌市組織委員会)」
▽第7回「神戸ルミナリエ(神戸実行委員会)、全国高等学校

漫遊選手権大会(あつたか高知実行委員会)ほか
【東京から】参加いただいた方
▽副会長 宮中雲子、顧問 坂井弘孝、東京クラブ 高橋真澄、尾崎杏子、サンディエゴ・オテグマ・カイ、坂井恭子(福田中)▽文芸堂編集顧問 金森三千博、同社図書出版グループリーダ 道家洋▽青少年交友協会 和泉かおり、中山順子
(順不同・敬称略)

「美しいまがひくり賞」を受賞

愛媛経済同友会から

日本のお手玉の会は、5月7日、愛媛県民文化会館で行われた愛媛経済同友会(一色哲昭代表幹事、白石晋三代表幹事)の総会で、「美しいまがひくり賞」を受賞しました。これは、当会のお手玉遊びの普及活動が、同会が推進する「文化の普及向上・伝承・保存などの活動」を「地

域文化の振興活動」として顕彰する趣旨に該当するとして、ご評価いただいたものです。

とくに、当会の「お手玉遊びで、手から心へ、温もりを伝える」をモットーに、「世界と日本のお手玉展示」、「お手玉作り方教室」、「お手玉遊び方教室」などの活動を通して、「お手玉遊び」の普及に努め、ひいては地域文化の振興に大いに貢献していることが、高く評価されました。

表彰状



総会の後の懇親会は、加戸守行愛媛県知事ご夫妻などのご来賓をお迎えして、会員の皆さんとともに、楽しいなごやかなパーティとなりしました。懇親会の中で、藤田石根副会長、今村シメ子理事、村尾杉代理理事らの指導で、参加者全員でお手玉遊びを笑顔で楽しんでいただきました。



西宇和郡三崎町の21佐田御子ども地域活動実行委員会は、3月16日(金)、三崎町立二名津小学校で「お手玉しゅうかい」を開きました。

「うかい」を開きました。当日は、学年末の終業式の日で、小学生、父兄、教師など約70人が講堂に集まりました。(写真真)

はじめに、「お手玉遊びと世界の子どもたちー遊びをつうじて外国の子どもたちとお友だちになろうー」というお話をしました。日本のお手玉の会の海外遠征の体験による、外国の子どもたちとの交流の様子には、参加した生徒は目を輝かせながら聞き入っていました。

また、みんなで輪になって、「あんたがたどこさ」を歌いながらのコミュニケーション・ゲームは、生徒はもとより、父兄も教師も大喜びで、たいへん盛りあがりしました。後日いただいたお便りによると、このゲームは学校中に大流行し、遠足の時にも、お弁当を食べた後、全員で「あんたがたどこさ」を楽しんだそうです。

世界の子どもとたちと友だちになろう

三崎町の二名津小学校で「お手玉しゅうかい」を開く

二名津小学校の田村ヤエ子校長から、次ぎのようなお便りをいただきました。

「子どもも、大人も、一つの丸いお手玉の不思議な魅力にとりつかれ、心を開いた一ときを過ごさせていただきました。『お手玉を心とともに相手に渡す』この豊かな遊び(遊びというよりたいへん立派な教育活動、または道徳実践)のおかげで、相手のミスを許したり、心の勉強をすることができました。」

平成12年度の終わりに、充実した活動ができ、本校の教育活動面で有終の美を飾ることができました。本当にありがとうございました。」

生徒のみなさんは、終業式の日の日誌に次ぎのように書いていました。

「さよう、おばさんたちが、じょうずにお手玉をしていて、すごかったです。ほくもまねします。」

「お手玉しゅうかいのとき、むずかしいお手玉あそびもあつたけれど、みんなで作るとたのしかったです。またお手玉をやりたいです。」

「お手玉が、こんなおもしろいあそびだとはしりませんでした。」

「わざわざ、お手玉をおしえにきてくれて、とてもうれしかったです。はじめはドキドキしていましたが、じょうずにできるようになって、さいごになみだがありました。」

霧の森「春まつり」 で「お手玉大会」を楽しく



愛媛県宇和郡新宮村の霧の森公園で、霧の森「春まつり」お手玉大会が、4月1日(日)に行われました。好天に恵まれた緑と自然の中で、お手玉歌と歓声が響きました。(写真)

公園内の野外ステージとステージ廣の広場で、お手玉遊び大会と、お手玉の作り方教室を開きました。大会は、小学生の部と一般の部に分かれて行いましたが、みんな笑顔で楽しみました。また、作り方教室では、小学生からおばあちゃんまで、幅広い参加があり、それぞれ自分のお手玉を完成させ、大喜びしていました。

霧の森は、Xラインの要の部分にあたることもあって、参加者は、愛媛県ばかりでなく香川、徳島、高知の各県からも集まっていました。

京都御苑での路地遊びで「お手玉」

— ボランティアアグループが開催 —

子どもたちが昔ながらの遊びを楽しむイベント「路地遊び」をしましょう」が、4月28日(土)、京都市上京区の京都御苑内の児童公園で行われました。これは、京都市内の保育局長やボランティアたちで作るグループ「お父さんの手は、魔法の手」実行委員会(世話人代表、小池康博)が、行政区や学校の垣根を越えて、書林な遊びを学び楽しんでもらおうと、はじめたものです。市内の親子が参加しました。

子どもたちは、ビー玉やメンコ、コマ回し、お手玉など、昔なつかしい遊びをスタッフから教わってもらい、大人と子どもが一緒に遊んで楽しむことができました。

同実行委員会では、今後、第4土曜日に継続してイベントを行うことにしています。

6月23日(土)には、京都御苑内の児童公園で「こどもエコラリー」を開き、コマ回し、お手玉、ビー玉、メンコなどを行いました。今回は、考古館から視メソコを借りて、複製品作りや、泥メンコに絵を画いたり、自然観察や自然体験遊び、リサイクル輪投げなどをしました。

この路地遊びの開催に当たって、世話人代表の小池様から、お手玉遊びのすすめ方について、日本のお手玉の会にお問い合わせがあり、情報をご提供しました。

路地遊びが楽しいな

「お父さんの手は魔法の手」実行委員会主催の路地遊びイベントが、4月28日(土)に京都市上京区の京都御苑内の児童公園で行われました。子どもたちが昔ながらの遊びを楽しむイベント「路地遊び」をしましょう」が、4月28日(土)、京都市上京区の京都御苑内の児童公園で行われました。これは、京都市内の保育局長やボランティアたちで作るグループ「お父さんの手は、魔法の手」実行委員会(世話人代表、小池康博)が、行政区や学校の垣根を越えて、書林な遊びを学び楽しんでもらおうと、はじめたものです。市内の親子が参加しました。

子どもたちは、ビー玉やメンコ、コマ回し、お手玉など、昔なつかしい遊びをスタッフから教わってもらい、大人と子どもが一緒に遊んで楽しむことができました。

同実行委員会では、今後、第4土曜日に継続してイベントを行うことにしています。

6月23日(土)には、京都御苑内の児童公園で「こどもエコラリー」を開き、コマ回し、お手玉、ビー玉、メンコなどを行いました。今回は、考古館から視メソコを借りて、複製品作りや、泥メンコに絵を画いたり、自然観察や自然体験遊び、リサイクル輪投げなどをしました。

この路地遊びの開催に当たって、世話人代表の小池様から、お手玉遊びのすすめ方について、日本のお手玉の会にお問い合わせがあり、情報をご提供しました。

部り
支だよ

県主催のワークショップに参加

とつとりのお手玉の会 会長 福田 環

とつとりのお手玉の会は、この度オーストラリアの男女共同参画センター（通称：よりん彩「よりんさい」とは、鳥取の言葉でよって下さいの意）のワークショップの中に参加しました。（写真）

お手玉をつくる、あそび、認定する、競技する（これもとつとり独自のもの）のコーナー。世界のお手玉展示（日本のお手玉の会より送付）お手玉の販売等々。楽しいひとときを送りました。

世界のお手玉へは、多くの方の関心が集まり、「世界中にお手玉があることを初めて知りました。」「お手玉にも長い歴史があるんですね。」と、お手玉の本も求められるなど、成果があった。

「健康とお手玉」をテーマに盛り上がる

早いものですね。今年も全国大会が近づいてまいりました。昨年は、熊本おじやめの会「ありあけチーム」が一

熊本おじやめの会



こと嬉しく思っています。この日は県下からの来場者も多く、それぞれの地域に一人でもお手玉を始めてくださり、お手玉の会としてお手伝いできること、その願いがまたこの日に生まれたことをかみしめました。会員の皆さま、ご苦労さまでした。

私達の作るお手玉の中身は、自然の散珠玉を入れる。古布を利用・活用する。以上の二つを原則として実行し、十年余り歩んできました。ひとつ、ひとつみな懐かしい色・柄・布地の感触を持つています。それらのお手玉は、今やすっかり自分の分身であり、友達たのです。みんな大喜び、あまりのうれしさに祝賀パーティーには、230人の方々が祝賀パーティーに駆けつけてくださいました。中原先生の「健康とお手玉」をテーマの講話には、みんな真剣に聞き入っていました。お手玉は病にとでも良いそうです。熊本では、利き腕でない左手を使ってお手玉をよくやります。これも腕との関わりがあるのです。当日は、皆でお手玉をしました。お手玉演舞もしました。「山鹿町産踊り」などもあってパーティーは大盛況でした。



お手玉大使の神屋さんが自分史

「凌ぐ」と題して92年の歩みを出版

神屋さんの、戦中、戦後の苦しかった思い出、お手玉づくりの喜びを二部構成でまとめた「人生の橋」といえるものです。自分史は、神屋さんが語る昔話を三人の子ともさんが作業を分担してまとめあげたものです。第二部では、「お手玉に感謝の思いを込めて」という見出しで、お手玉づくりの喜びや、周囲への感謝の気持ちらが綴られています。昭和57年から幼稚園、小学校、

「長男からの手紙」 昔若き若き頃と相成りました。その後お変わりなくお過ごしのことと推察いたします。昨年の8月、お手玉大使の称号を戴き誠に有難うございました。その後、暇をみてはお手玉を作っています。皆さんに差し上げています。 さて、この度、母（神屋タニ子）の生涯の生き方を、私達子供が母から聞き出し、書き綴ったところ、良い作品ができました。これが、平成12年度大分市教育委員会自分史助成事業に入選し、大分市より半額の助成金を戴き、出版の運びとなりましたので、お手玉と共に一部お送り致しますので、お手玉ください。 厚さ厳しい毎日となりますので、お体を大切にしてください。 平成十三年五月十一日 長男 神屋 文男

自分史を出版



自分の神屋タニ子さん(92)

老人ホームなどへお手玉の寄贈を続け、その数は約七万個に達したことや、日本善行協会から表彰を受けたこと、日本のお手玉の会から「お手玉大使」に任命されたことなどが記されています。自分史「凌ぐ」は、二長男の神屋文男様から、次子のようなお手紙と、お手玉二九〇個と一緒に、送っていただきました。神屋タニ子さんの今後のご健康とご活躍を、心からお祈りいたします。

家族に支えられ完成

先日はお忙しい中をご指導いただきありがとうございました。とても楽しく、あっという間に時間が過ぎてしまったような気がします。

また、教えて下さった方が、とても上手にほめてくださるので、ついつい調子にのってしまいました。しまいには子供の面倒までみていただいて恐縮しております。

娘はたいそう喜びまして、その夜10時ごろまで「おとうさん、ももたろさん、ももたろうさんしよう」ときゅきゅきゅきゅと笑いころげながら、お手玉しておりました。

新居浜市徳常町 中井智子様からのお便り

三世代一緒に、しかも真剣に遊べるなんてすごい。なんてお手玉っていいのだろう。

教えていただいた、娘と一緒にできるお手玉、これは幼稚園でも是非やって欲しいと思いました。

ご指導いただきました方、やんちゃ坊主を相手して下さった方々、そして目の覚める（まわる！）ようなお手玉を見せて下さった方にどうぞよろしくお伝えください。

どうもありがとうございました。またお会いする日を楽しみにしております。



お手玉とわたし

神郷小学校6年 近藤 えり

まらにまつた全国お手玉大会が、今年も秋連の町、新居浜市で開かれます。ギョウキョウと太陽がふりそそぐ中での大会ですが、その暑さもなんのその、一生懸命お手玉遊びに熱中してしまっています。私は、この大会に出場するのは今年で、3回目になります。記念のバッジ、グッズを大切にし、いつも練習する時は、身につけています。この小さなお手玉とふれあい、仲間と協力しワイバルと戦い、勝ち抜いて優勝を目指す、本当に素晴らしい大会です。この大会に出場をして勝った

こともありました。負けた時もありました。でも負けても最後には、皆で笑いあえます。一人一人全力を出して戦うのですから、悔いは残りません。小学校生活最後のこの大会に出場をし、これまで以上の成果をあげ素晴らしい思い出になります。この経験はこれからの私の生活にきっと素晴らしい力を与えてくれることと思います。

この大会が、これからもますます盛んになり、昔の遊びにふれる人が多くなることを期待します。

私は、これからもいつもお手玉をそばにおき、「一、二、三」とふっついていると思います。

素晴らしい思い出をつくることができました。心から感謝しています。ありがとうございました。

くくく 全国からの おたより くくく

西条市立神拝小学校

三年担任

木村 郁子先生から

先日はお忙しい中本校へおいでください、すばらしいご指導をいただきました。みなさまのご指導をいただきました。みなさまのお手玉のご指導は、子供たちも私達もとても楽しいものばかりでした。また、私達教師も初めて知ったことがたくさんあり、とても勉強になりました。さつそく子供たちは、次の日から休み時間にいろいろな技に挑戦しています。

青木 雄大さん

お手玉のいろいろな遊び方があり、お手玉がもっと楽しくなりました。

神拝小3年生から

伊藤 志緒理さん

有名な名人がゆっくりみんなに教えてくれて、わたしも始め苦手だったけど少しできるようになりました。それにさい後にいろいろなお手玉を見せてくれてうれしかったです。

桧垣 麻夕さん

初めははぜんぜんできなかったけど、ていねいにやさしくおしえてくれてありがとうございました。3つ、4つ、5つとできたらふえていって、コツをつかんでじょうずにして、自分だけのわざをしてみたいと思います。

佐々木 有紗さん

名人の先生にあくしゅをしてもらったお手玉を見せてもらったりしました。自分せんようのお手玉をおばあちゃんに教えてもらって作ってみたいです。教えてもらった先生方ありがとうございました。とっても楽しかったです。

藤田 治さん

きのうはお手玉をしました。楽しいお手玉でした。お手玉を教えてくださいました。べんきょうになりました。楽しい5・6時間目でした。

首藤 聖弥さん

知らないお手玉の遊びを教えてくださいました。昔のお手玉がいっぱいありました。となりの友だちとペアになったり、大ぜいで遊んだりして、とてもお手玉のことがわかりました。お手玉はいつもやっているけど、たくさん知らないことがあったので、とてもたのしみになりました。これからも、それをいかしてお手玉をやりたいと思います。

たかはし じゅんさん

先生たちはいっしょけんめいにお手玉の練習をしたのだと思います。私も練習して、先生みたいにうまくなりたいな。

星加 さきさん

私の知らないお手玉のしかたなどいろいろ教えてくれてありがとうございました。むずかしかったり、うまくなかったけど、楽しかったです。心からありがとうございました。

丹 美有さん

私はとてもお手玉が好きです。お手玉の遊びはいろいろありましたね。わざわができてくれてありがとうございました。

第10回記念 全国お手玉遊び大会

日本のお手玉の会創立10周年記念式典

9月9日(日)に大会・8日(土)に式典



10年目を迎えた全国お手玉遊び大会は、「第10回記念全国お手玉遊び大会」として、平成13年9月9日(日)、新居浜市のリーガロイヤルホテル新居浜で開催します。また、記念事業として、9月8日(土)、同ホテルで日本のお手玉の会創立10周年記念式典・祝賀会および前夜祭を開き、記念講演会と交流会を予定しております。

大会は、例年どおり競技会(個人戦、団体戦)をはじめ、なつかしい遊び、お手玉遊園地、技量認定審査、お手玉作り教室、手作り物産などの展示即売、ほかを予定しております。

記念式典では、日本のお手玉の会顧問で医学博士の中原和彦様(熊本支部代表、N.T.T九州病院産婦人科部長)が、「お手玉はヘルスアートのチャンピオン」病気の出口より健康の入り口へ」と題した記念講演を行います。

また、全国から参加の各支部、各チームから、活動状況あるいはお手玉遊びや、隠し芸の披露などを予定しております。多数のご参加をお願いいたします。

前夜祭 平成13年9月8日(土)

16:00~21:00

第1部 日本のお手玉の会
創立10周年記念式典

第2部 記念講演

「お手玉はヘルスアートのチャンピオン」

熊本支部代表 医学博士 中原和彦様

第3部 親睦会・前夜祭・交流会

大会 平成13年9月9日(日)

9:20~15:30

開催内容

◎競技

・一般の部

団体戦

個人戦 (片手2個・両手3個・両手4個・両手投げ上げ3個 [ジャグリング])

・小学生の部

団体戦

個人戦 (片手2個・両手3個)

参加料 入場・見学無料

個人戦 500円/種目ごと

団体戦 1,000円/1チーム

(小学生以下は無料)

◎技量認定審査 初段から6段

◎お手玉遊園地

◎お手玉教室 作り方、遊び方

◎いろいろな遊びコーナー

折り紙、竹とんぼ、まりつき、竹返しほか

◎物産展示即売

手作りお手玉グッズ、書籍、地場物産ほか

開催場所 リーガロイヤルホテル新居浜

(愛媛県新居浜市前田町6-9)



杉葉子顧問に「ゴールデン・グローリー賞」

日本映画批評家大賞を受賞



杉葉子顧問は、4月14日、赤坂プリンスホテル(ロイヤル)で行われた、日本映画批評家協会主催、文化庁後援の「第10回日本映画批評家大賞」の表彰式で、

「ゴールデン・グローリー賞」を受賞しました。

この賞は、現代文化の一翼を担う映画を、さらに向上させたいという願いを込めて、純粋に永年映画を愛し、映画を見つけた日本映画の評論家を選ぶものです。この一年間を振り返って、素晴らしい活動をした人、やがて次ぎの世代に大いなる飛躍を遂げる人、さらには、これまで映画界に多大な足跡を刻んだ大先輩に賞を贈り、新しい映画の発展に貢献しようというものです。

「青い山脈」をはじめ70本の映画に出演し、また「青い山脈」公開50周年記念パーティーを開くなど、日本映画界の発展に寄与した杉葉子顧問の受賞を、心からお祝いを申し上げます。

今回の受賞者には、次ぎのような方々がおられます。大木実、田村高広、鬼玉清、江原真二郎、雪村いずみ、市田ひろみ、小田切みさ(以上ゴールデン・グローリー賞)、原田芳雄(男優賞)、黒木瞳(女優賞)、深作欣二(話題賞)、長岡輝子、北林谷榮、奈良岡朋子、丹阿弥谷津子(以上功労賞)ほかのみなさんです。

杉葉子顧問は、「表彰式のお世話をしてくださった香川京子さんをはじめ、長岡輝子さん、北林谷江さんなどに久しぶりにお会いできて、いろいろと積もるお話ができました。まるで同窓会のような、楽しいひとときを過ごしました」と、喜びを語っていました。

第11回全国お手玉遊び大会 の開催地が決まりました!!

熊本 です

第11回全国お手玉遊び大会の開催地を募集しておりましたが、熊本支部その他からご応募いただきました。日本のお手玉の会本部で審査させていただき、11回大会開催を「熊本おじゃめの会」にお願いすることとなりました。日程など詳細は、今後熊本支部と相談をして決めていく予定です。

主催団体：熊本おじゃめの会
住 所：熊本県上益城郡益城町惣領1212-1
代表者：中原 和彦
会 長：福永 カツミ
電 話：096-289-8433
F A X：096-286-8658



お手玉（玉ちゃんグッズ）

手作りで10種類のアイテムを取りそろえています。本部までお問い合わせください。

お手玉川柳

＝お手玉川柳で楽しもう！＝

お手玉川柳で楽しみませんか？楽しい作品が出来上がったら、ぜひ、お知らせください。次号の情報誌「おてだま」で全国の皆さまに紹介させていただきます。審査をするものではありませんので、お気軽にご応募ください。今回は副会長の川柳をご紹介します。

お手玉を 落とした顔にも 笑いあり
副会長 天野 征郎

国内遠隔地・海外のお手玉活動 への参加お願いとご案内

今年の10月以降、下記のようにたくさんの国内遠隔地・海外イベントへの参加が予定されております。

多くの方にご参加いただき、イベントへのご協力、また、いろいろな方とのお手玉での交流を深めていただきたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。詳細日程や参加申込みなどにつきましては、9月以降となりますので、改めてご案内させていただきます。

なお、参加人数が定員に満たない場合は、イベントへの参加ができないため、早めに開催先への連絡が必要となります。そのため、参加ご希望の方は、お早めに事務局までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

記

◎現在予定されているビッグイベント

- ・10月11日(木)～15日(月)
全国生涯学習フェスティバル「まなびピア山形2001」
(山形県)
- ・10月26日～28日
全国レクリエーション大会 in 香川 (香川県)
- ・11月3日(日)
第3回野外伝承遊び国際大会 (東京都)
- ・11月24日(土)～25日(日)
US-JAPAN EXPO 2001 (ロサンゼルス)

～ファックス番号変更のお知らせ～

6月から日本のお手玉の会のファックス番号が新しくなりましたので、お知らせいたします。なお、電話番号は今までどおりです。

電話番号

0897-36-0600

新 ファックス番号

0897-36-0644



発行・編集

日本のお手玉の会 会報編集委員会

〒792-0811 愛媛県新居浜市庄内町1-13-14

TEL/0897-36-0600・FAX/0897-36-0644
E-mail: tamachan @ otedama. shikoku. ne. jp
ホームページ
http://www.shikoku.ne.jp/otedama/